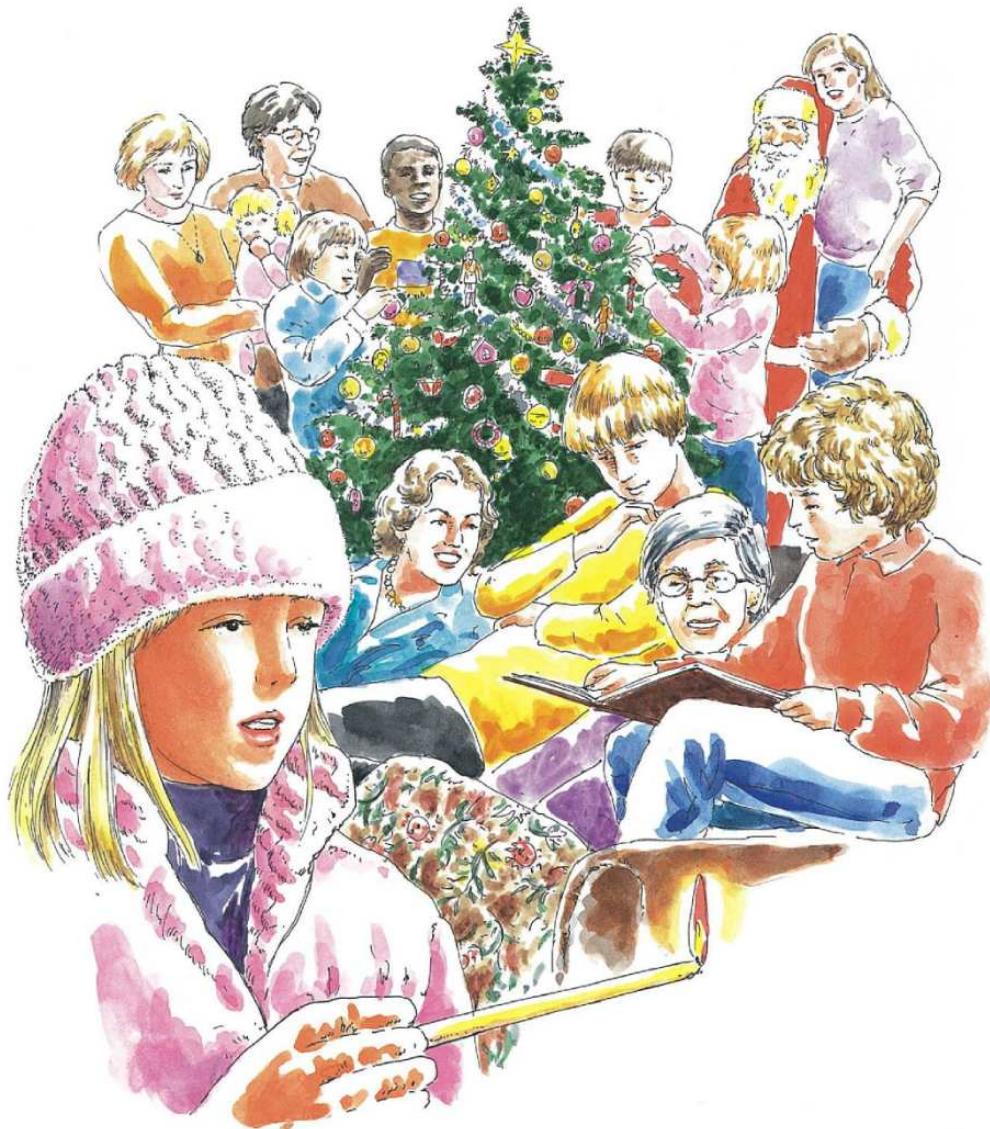


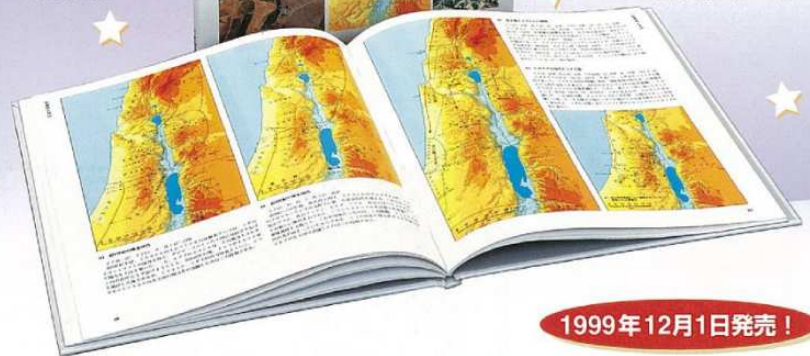
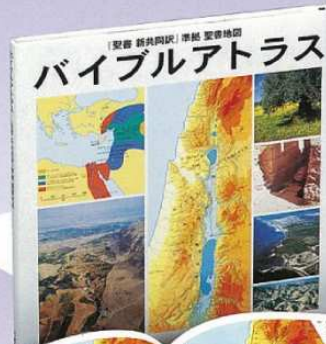
# SOWER

ソア=種まく人  
No.15  
Nov. 1999  
財団法人  
日本聖書協会

## 特集 聖書を通読する Part II



## クリスマスから聖書全巻通読を。



1999年12月1日発売!

書名  
**バイブルアトラス/聖書地図**

特徴 デンマーク聖書協会製作  
新共同訳聖書準拠  
カラー地図77葉 衛星写真つき  
サイズ 235×255mm  
装丁 厚表紙 64ページ  
本体価格 1,900円

書名  
**新共同訳 大型分割版聖書**

サイズ A4判  
装丁 軟表紙 ケース入り  
●旧約聖書 (4分割)  
本体価格 12,000円  
●旧約聖書・旧約続編つき (5分割)  
本体価格 15,000円  
●新約聖書  
本体価格 3,000円



書名  
**新共同訳 分割版聖書**

サイズ A5判  
装丁 軟表紙 ケース入り  
●聖書 (5分割)  
本体価格 7,000円  
●聖書・旧約続編つき (6分割)  
本体価格 8,400円

●ご注文は近くのキリスト教専門書店、または全国の書店へ  
(関東圏以外にご注文の場合は、別途送料がかかります)  
●カタログ請求、お問い合わせは下記まで

〒104-0061 東京都中央区銀座4-5-1  
電話 03-3567-1987 (ダイヤルイン)  
FAX 03-3567-4436

財団法人日本聖書協会 ホームページ <http://www.bible.or.jp>

日本初!

旧新約聖書の和英対照

和文/  
**新共同訳**  
英文/  
**Today's English Version**  
第2版 (Good News Bible)

書名  
**中型和英対照聖書**

サイズ B6判  
装丁 ビニールクロス装  
軟表紙  
ジャケット掛け  
本体価格 4,500円



大好評発売中

**東京大聖書展**

会場 有楽町さとう 会期 2000年10月26日~11月8日

SOWER  
ソア No.15

1999年11月1日発行  
[次号より3月・9月の  
年2回発行]

発行・財団法人日本聖書協会  
〒104-0061 東京都中央区銀座4-5-1  
電話 03-3567-1980 振替 00160-2-18410

ホームページ  
<http://www.bible.or.jp>







死海に魚が？

塩分濃度三十パーセントという死海に魚は生息できないのが常識。ところが死海北西沿岸にあるエン・フェシユカと呼ばれる泉が流入する所には小魚がいるのです。エゼキエル書に、エルサレムの神殿の下から泉が湧き上り、東に流れ下って塩の海に流入し、魚が非常に多くなるという「生命の水」の幻が記されていて、この泉を連想させます。

二千年前、近くのクムランに住んでいたユダヤ教・エッセネ派の人たちは、この泉の付近で野菜畑などを作っていたようです。

現在、ここはアラブの人たちに人気のある遊び場になっていて、休日の金曜日には大勢の家族づれが水遊びをしたりして楽しんでいます。最近はずーとプールの等が作られ整備されていますが、自然のたたくまいが失われてゆくのは、少しばかり残念な気がいたします。

巻頭 エッセイ 聖書七章一十二

巻頭 聖句

誰を遣わすべきか。

(イザヤ書 6章8節)

今から二十年前、毎年開かれている国際ギデオン協会のシカゴ大会に出席しました。実は出席するまでに、いろいろと困難がありました。私の地区担当全国理事のTさんから参加のお誘いがありましたが、私には全然その気がなく、また、当時は働き盛りで十日以上も休めるはずもなく、経済的にも全く無理な話でした。しかし、何度も何度も強いお誘いでしたので、とうとう押し切られて出席することになってしまったのです。シカゴに着いて、大会の初日、日本の席は会場の中央前列でした。荘厳なオルガンとピアノの讃美の中を歩き、席に座り前を見ると、正面壇上に大会標語「だれをつかわそうか」という聖言が掲げられているのが目に入りました。その時、聖霊の強い働きで、何故、今、自分がここに連れて来られたのかをはっきりと示されました。私は涙ながらに「ここにわたしがおります。わたしをお遣わし下さい」と応答しました。爾来、どんな時でもこの聖言に聞き従って、ギデオンの業に励んでおります。

増山瑞比古

日本国際ギデオン協会全国会長

CONTENTS

Sower  
No.15  
1999

2 聖書を通読するⅡ  
特集  
私と聖書通読 大宮 博

4 聖書通読の旅ガイド

8 21世紀の聖書と神学  
笠井 忠二

9 Eメール 渡部 信

10 エッセイ  
高知佳壽子「21世紀の環境問題と聖書」

12 新時代に求められる聖書製作  
プロジェクト2000委員会

14 人物と聖書 夏目漱石の聖書  
鈴木 龍久

16 読者の声より

17 聖書図書館蔵書シリーズ  
「アレツポ写本」



表紙の言葉  
世界の人々の暮らしをテーマに描いていきます。その国々の文化や生活を絵に表現できればと思っています。今回はアメリカのクリスマスの様子です。  
(月本佳代美)



2000年には聖書全巻通読を

## 私と聖書通読

「聖書に生かされる人生の素晴らしさ」をいつも味わうためには、聖書に日々親しむことが大切である。また、聖書の全体を把握するには、全部を読むことが必要となるだろう。キリスト降誕二〇〇〇年という大きな節目の年を迎えるこの年にこそ、あなたもぜひ聖書の通読をスタートさせてはどうだろうか。

大宮 溥

日本キリスト教団阿佐ヶ谷教会牧師 日本聖書協会理事

私は香川県の出身で、五歳の時（一九三九年）はじめて多度津教会の日曜学校に行きました。しかし小学校時代に入ると教会に行かなくなり、やがて太平洋戦争が始まり、次に教会の門をくぐったのは、戦後一九四八年の二月、旧制中学二年の終わりでした。そのころはキリスト教が多くの人に関心を持たれていて、中学校でも有志の聖書研究会があり、上級生からアメリカで印刷された『舊新約聖書』をもらったのが、高校一年の時でした。

間もなく牧師になる決意をし、一九五二年に東京神学大学に入学しましたが、入学の際に通読したのは新約聖書だけでした。神学校二年の時、旧約学担当の船水衛司助教



（当時）から夏休み中に旧新約聖書を五回通読して、くるように宿題を出されました。私は兄に学費の支援をしてもらっており、学校が休みになると大阪郊外の山で兄の農業を手伝っていましたので、夏の農作業の合間を使っての聖書通読はかなり苦しいものでした。結局四回通読して秋学期を迎えました。帰校すると船水先生の試験で、聖句を示されてそれが何書の何章何節か答えるのです。ドイツの神学校には「聖書知識」Bibelkundeという学科があり、聖書各巻の概要と本文の知識を正確に覚えさせられるそうですが、私にとってこの経験は、昔の人が儒教の四書五経を素読させられたようなもので、信仰と生活との基礎を作られたように思います。

私は六才の時に父親と死別し、それ以後母が毎晩仏壇の前で勤行をし、親鸞上人の正信心仏偈と蓮如上人の御文章を唱えるのを聞いていました。その時の言葉が今も心に残っており、恩寵宗教という意味で、仏教からキリスト教へ進む助けになっています。このことから、子どものころから礼拝に連なり、聖書のみ言葉を心に刻むことが、生涯を通じての心の糧になると思います。

私の所属している日本基督教団では、一年を通じての聖書日課が定められており、私の教会ではこれを週報に掲載して、教会員もこれにそって聖書を通読するように勧められています。大体四年で聖書全巻を通読できるようにまとめられています。この教団の出版局が発行している月刊誌「信徒の友」には、この日課を解説した「日毎の糧」という欄があり、その解説文の終りに「この教会のために」と、教団所属教会の一つをあげて牧師名、創立年月日、教勢、祈

りの課題が記されています。それぞれの教会に全国から何十通という祈りの葉書が送られてきて、教会員は大いに励まされるのです。私はこの日課に従って聖書を読み、挙げられた教会（全国レベル）、私の所属している西東京教区（今年四月に新設され、私が教区総会議長をつとめています）の二教会、私の教会のメンバー二人の名を挙げて祈ることにしています。

今年阿佐ヶ谷教会の創立七十五年で、種々の特別企画が進められていますが、五月二十三日の聖霊降臨日から六月六日（日）まで、教会堂での聖書通読をしました。委員がよい準備をしてくれ、週日は午前九時から午後九時まで（水、土は別）、常時十名くらいの会員が出席し、一人が一章ずつ読み継ぎました（この報告は別に発行される聖書通読ニュースを御参照下さい）。教会が一つの群としてみ言葉を読み抜くという経験は、神の言葉に立つ教会の姿を実感させ、また共に御言葉に生かされているとの思いに導かれました。私は、御言葉を目で読むよりも耳で聞くことによって、神が私に語りかけて下さる言葉として、新鮮な思いで受け止めました。

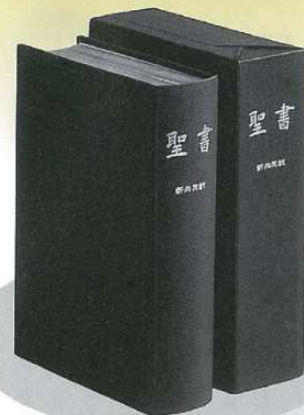
この教会での通読と並行して、一年かけて個人が聖書全巻通読をしようと呼びかけ、実施中です。

ある精神科医がキリスト者の患者に対して聖書を筆写するように勧め、み言葉を心に刻み文字に記すことによって精神的な不調が整えられるという治療をされるそうです。聖書を通読し、また心身に記すことによって、力と健やかさを与えられることは、私ども一人一人経験していることではないでしょうか。



# 旅ガイド

## 聖書通読の



小型講壇用聖書  
NI68  
本体価格28,000円  
A5 総革装厚表紙  
三方金 ケース入り



小型講壇用聖書  
旧約聖書統編つき  
NI68DC  
本体価格33,000円  
A5 総革装厚表紙  
三方金 ケース入り

前号では「聖書を通読する」という特集を組んだ。五人の方の証、小林和夫師による通読の勧め、さらに通読の助けになる書籍などの紹介であった。今回は、改めて日本聖書協会から聖書全巻通読のお勧めをし、通読に最適な幾つかの聖書をご紹介したい。

日本聖書協会が提唱している「聖書通読運動のキャッチフレーズは「神の愛に出会う旅」である。旅にはいろいろあるが、聖書協会が楽しい旅を提唱したい。お気に入りの聖書を手にも、いつでも、どこにおいても、一人でも複数でも気軽に旅を進めていただきたい。

### さあ、旅に出よう

誰もがまず思い浮かべるのが、やはり個人での通読だろう。すでに二十余年多くのクリスト者の座右に置かれ続けている「旧約聖書一日一章」「新約(同)」「主婦の友社」を

出された故・榎本保郎師は、アシシラム運動の創始者であるスタンレー・ジョーンズ博士の「朝の十五分があなたを変える」という言葉に啓発されて、毎朝自ら聖書をひととき祈る「静聴の時」を守り、かつ「一日一章」を世に送り出す元となった早天祈祷会を実行された。この早天祈祷会とは聖書を毎朝一章ずつ講解して読み進むという、まさに「神の愛に出会う旅」であった。そして、その根本にあったのは聖書のどの章からも折に合った神のメッセージを聴くという、聖書全巻通読のお勧めの理由の一つとしても通じる堅い信仰である。榎本師が始められた「静聴の時」とは「独りで」聖書のみことばと、すなわち神と向き合う時を意味している。一日にわずかな時間でも聖書と向き合い、ヤボクの渡しにおけるヤコブのように神と格闘して与えられる祝福を味わいたいものである。

さて、個人での通読用には様々な大きさの聖書がそろっているが、特に家族礼拝や小さな集会での通読には、「小型講壇用聖書」(ホームバイブル)をお使いになることをお勧めしたい。この聖書の、「突き付け」という製本様式が採用された厚い総皮表紙は、開く度に通読への思いがかきたてられる。家庭など親しい間柄で長く共に使う聖書には、このくらいの質感が必要であろう。

家庭とは、にぎやかな所でもある。掃除、洗濯、育児などで忙しい時には聖書を手を取

る暇もないだろう。ところが、台所仕事をしながらでも聖書通読をすることができるのだ。新共同訳は旧新約六十六巻がCDとなっているので、これを使う。「CD聖書」は現在第一線で活躍中の声優、アナウンサーが心血を注いで吹き込まれた、隠れた逸品と言えよう。目で文字を追いつながらでは気づかなかった発見があるに違いない。前号でも山下萬里師が述べておられるように、聖書はかつて大多数



### 大型分割版聖書

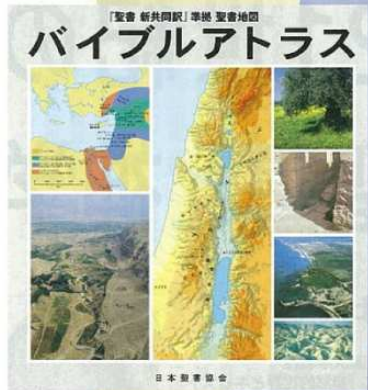
NI191D (旧約聖書 4分割)  
本体価格12,000円  
NI191DCD (旧約聖書・旧約聖書統編つき 5分割)  
本体価格15,000円  
NI291D (新約聖書)  
本体価格3,000円  
A4 軟表紙 ケース入り

### 分割版聖書

NI62D (聖書 4分割)  
本体価格7,000円  
NI62DCD (聖書・旧約聖書統編つき 5分割)  
本体価格8,400円  
A5 軟表紙 ケース入り







バイブルアトラス  
 本体価格1,900円  
 235×255mm  
 紙装 厚表紙 多色刷り



バイブルアトラス付録の、パレスチナ全域を収めた衛星写真。  
 1987年1月18日NASA観測衛星ランドサット5号が一回の飛行で収録に成功した。冷え込みが厳しく、雲ひとつない例外的に晴れた、最高に恵まれた朝だったという。540×245mm。

### 旅をさらに楽しむために

聖書通読に限らず、あらゆる聖書の学びの  
 お供に、待望の新共同訳に準拠した聖書地図  
 「バイブルアトラス」が発行される。これは、  
 デンマーク聖書協会およびドイツ聖書協会の  
 定評あるカラー聖書地図の最新版を日本語化  
 したもので、聖書記述に関する七十七葉の地  
 図と、ゆかりの景観写真が入っている六四ペ  
 ージの地図帳である。写真のような、米国防  
 空宇宙局（NASA）観測衛星ランドサット

### 共に旅を味わおう

「彼が担ったのはわたしたちの病 彼が負  
 ったのはわたしたちの痛みであった…」(イ

の人にとって「聴くもの」だったことが思い  
 起こされるだろう。

和英対照聖書  
 NITEV44DI  
 本体価格4,500円  
 B6 軟表紙  
 ジャケット掛け



5号による衛星写真が付いている。聖書の舞  
 台の地理的環境を詳しく知る助けに、また地  
 図の一部は聖書の範囲外にも及んでいるので、  
 広く古代オリエント史を学ぶすべての方に  
 勧めたい。  
 通読をしていると他の日本語訳ではどう訳  
 されているかを調べたくなることもあるかも  
 知れない。聖書協会からは九三年に「電子ブ  
 ック版」が出されたが、最近さらに便利な  
 パソコン用ソフトがある。日本コンピュータ  
 聖書研究会の「J-1ばいぶる」やキリスト新  
 聞社の「バイブルメイト」は、それぞれに複  
 数の訳文や辞書などが付き、便利である。こ  
 れらのソフトは、ヘブライ語、ギリシア語に  
 よる原文を研究する機能を追加することもで  
 きる。また、「引照つき聖書」は、通読中に、  
 そうしたパソコンソフトではかえって見つけ  
 にくい関連箇所を参照するためには必携だろ  
 う。

聖書は、ヘブライ語、ギリシア語などの原  
 文に当たらないまでも、英訳を参照するだけ  
 でも深い学びができる。TEV (Today's  
 English Version) と対照となった「和英対照  
 聖書」による通読を試みるのも良い。これは、  
 紙の抄造と製本の技術の進歩によって実現さ  
 れた日本初の六十六巻の対照聖書である。

ザヤ五三・四)「苦難は忍耐を、忍耐は練達  
 を、練達は希望を生む」(ロマ五・三、四)  
 こうした聖句に代表されるように、聖書は病  
 苦の支えである。長い間病に伏した方は経験  
 があるだろうが、厚い聖書を床で開くのはか  
 なり労力が必要。この春、二種類の「分割聖  
 書」が出た。「病床で読みやすいよう数冊に  
 分かれた聖書」という要望が多かったため  
 で、これを使えば病の中でも聖書通読が楽し  
 くなるのではないだろうか。それにはA5判  
 (教科書サイズ)の方がお勧めだが、より大  
 きな文字で読みたい方には倍のA4判もある。  
 目の不自由な方には、先の「CD聖書」の  
 他に、「点字聖書」による通読をお勧めする。  
 一冊あたり千六百円以上かかる「点字聖書」  
 の製作費は皆様のご献金に支えられて、一冊  
 百円で頒布されている。

前述のA5判の分割聖書は、任意の一冊だ  
 けを持ち歩いて、場所を選ばず通読すること  
 が可能なので、携帯性にも優れていると言え  
 よう。さらに、携帯性にくれば何と言っても  
 従来の縦組二段を横組一段に置き換えてペー  
 ジ数を半減させた「ハンディバイブル」があ  
 る。携帯通読アイテムとも言うおうか。新約  
 だけならさらに小さな文庫サイズもあり、そ  
 の姉妹判の「レインボウ新約聖書」(五十冊  
 セット)は気軽に贈り物として広く用いら  
 れているので、これで広く信仰入門者の方々に  
 も通読をお勧めしてはいかがであろうか。



# 21世紀の聖書と神学



笠井恵二

京都産業大学教授  
著書に『自然的世界とキリスト教』、『二十世紀の聖書理解』(いずれも新教出版社)などがある。

間もなくわれわれは、二十世紀最後の年である二〇〇〇年を迎えようとしている。今や科学技術は驚異的な発展を遂げており、DNAの構造が解明され、遺伝子の組み替え、クローン生物の作成や、さらには臓器移植なども日常茶飯事となってきた。この科学技術の発展には目を見張るものがある。果たして来る二十一世紀はいかなる世界になるのだろうか。そしてこの科学技術はどこまで果てなく発展していくのだろうか。

各方面において多くのひずみが生じてきていることは誰しも認めることである。二十一世紀には、現在にも増して心の問題が大きな問題として脚光を浴びてくることであろう。そのような時代において聖書が「神の言葉」であるということは、果たしてどういうことなのであるか。そしてキリスト教自体が、これまでどのように存続することができのだろうか。二十世紀になってエキュメニカル運動の発展に伴い、カトリックとプロテスタントの陣営が手を結ぶ努力を始め、その成果が「新共同訳聖書」として結実したわけであるが、二十一世紀においては他宗教とのさらなる豊かな対話により、キリスト教自体も新たな深まりと展開を示すであろう。

また地球環境破壊の問題などから、創世記一章、二章の創造の記事を新しく読みなおす試みもモルトマンたちによってなされ始めている。そこにはこれまで永い間着目されていなかった新しい発見があり、聖書の新しい解釈がなされようとしている。そのような、時代の要求に応じて聖書が新しい光を放つということにも、聖書の聖書たるゆえんがある。聖書はその時々の人々に向かって具体的に語りかけるのである。

よつてぐらつくほど聖書の真理は柔なものではないはずである。聖書の批判的研究を拒否し、自分の「信仰」においてのみ、聖書を靈感に導かれて読もうとする今も米国南部などで盛んなファンダメンタリズムの人々の信仰の真髄には尊重すべきものがある。しかし歴史的・批判的な研究が発達すればするほど、むしろ聖書が人類に語りかける救いの確かさは揺るがない確固としたものになるのだろうか。

マルティン・ブーバーは「神の触」つまり科学技術の発展という黒雲に覆われて現代人には神を見ることが困難になってしまったと言ったが、この事情は二十一世紀においてさらに顕著になるであろう。そういう点から言っても、聖書の中に神の言葉を聴きとる耳を豊かに育てることの大切さを痛感させられる。

来る二〇〇〇年にはローマ教皇がカルデアのウルを訪問する計画があるということであるが、アブラハムがウルを出発してからおよそ四〇〇〇年になる。そして、そのちょうど中間の時期にイエスの出現があったわけである。イエスの出現を中心にして、人類の歴史は二〇〇〇年ずつ前後に分けられるのである。そう考えれば、今や人類は宗教的にも新しい第三の段階に進んでいく過渡期に立っているとも言える。

キリスト教信者でなくとも、心を豊かにするものとして聖書を愛読している人々にはわれわれの周りにも少なくない。来世紀には、教会のあり方などにはいささかの変化はあるかも知れない。しかし聖書のメッセージが廃れることはありえない。カトリックの立場からは、聖書を時代を越えて伝えてきたのはカト

リック教会であるというかもしれないが、カトリック教会が存続してきたのも聖書と聖霊の力によるのである。

私は昨年ワルトブルク城を訪問し、ルターが聖書を翻訳した部屋を見る幸いを得たが、彼はわずか十週間で新約聖書の翻訳を成し遂げたという。まさに聖霊に導かれてと言わざるをえない偉業である。聖書が真剣な信仰をもつて開かれるとき、そこには聖霊が豊かに働くのである。三十世紀になろうと四十世紀になろうと、聖書は人類の続く限り、時と場所を越えて存続する永遠の神のことばであり続けるのである。いまも生きて働き続ける聖書の力を見れば、聖霊に導かれて聖書の真理がさらにその輝きを増していくことは疑いない。科学が発達すればするほど、むしろ聖書の真理性は増していくのである。

一九九七年七月に日本キリスト教協議会を通じて中国キリスト教協議会(CCCC)の招聘を頂き、中国の教会の様子を伺う機会が与えられました。現在のCCCCは三自愛国運動委員会の組織と同一母体で統一教派を形作っており、CCCCの組織の下に聖書委員会、讚美歌委員会、出版物委員会など十二の委員会が設けられて運営されています。八十七年に聖書協会世界連盟は七百五十万ドル(当時の換算で十億四

千万元)にのぼる援助を申し出て、その内日本聖書協会は九千万円を募金で協力し、中国語聖書を専門に印刷する愛徳印刷所を南京に建設しましたが、今回の視察はその成果を十分に検証するもので大変嬉しいと思いました。中国政府は公のキリスト教伝道を禁じていますが、聖書の配布と教会での礼拝を認めていて、「文化大革命」後約二十年間で、百万人足らずのクリスチャンが千三百万人へと成長し、

## Eメール 中国の教会情勢 渡部 信 日本聖書協会総主事

中国語聖書の国内頒布数も三千三百万冊に上りました。

「十字架の言葉は、滅んでいく者にとっては恵かなものですが、わたしたち救われる者は神の力です。」(コリント一 一・十八)

一冊十三元(約百八十円)の聖書は、信じない者には全く論じる価値のないものとして制限(教会内でしか販売できない)つきで頒布されているもの、この聖書を通してキリストの福音が中国内で

かに浸透している様子は、神の知恵としか言いようがありません。聖書協会とCCCCの聖書委員会は、大変友好的な関係にありますので、これから人々の交流や支援を通して、中国キリスト教会のために祈りをあつくりたいと思います。聖書協会のために祈り支えて下さる献金者一人お一人に、このような形で神様のご用がなされています。ご心から感謝申し上げます。



## 21世紀の環境問題と聖書

高畑佳壽子

「産めよ、増えよ、地に満ちて地を従わせよ。

海の魚、空の鳥、地の上を這う生き物をすべて支配せよ。」(創世記一・二八)

地球環境問題の分野で、これほど誤解されている聖書の言葉はない。少なくとも、私が環境問題に着手してからの十年間だけでも、幾度となくこの言葉が引き合いに出され、同時に「キリスト教思想に基づく西洋的価値観が今日の社会を作り上げたのであり、環境破壊の原因もそこにある」という批判が展開され、「それゆえ、東洋的な価値観に立ち返り、日本の思想で二十一世紀を築こう」ということがよく言われた。

平仮名を習う前から聖書を読み、気がついた時には教会に通っていた、カトリック信者の私から見れば、これは全くの誤解である。

人口の爆発的增加と環境破壊、そして食料不足は必ずセットで起きるが、それはキリスト教国以外の国でも起きているし、避妊や中絶を禁じているカトリックが大勢を占めるヨーロッパ各国は、少子化が進んでいる。逆に、近年まで共產主義により宗教を禁じた中国は、世界人口が多く、次に多い国は、かつて仏教徒、今はヒンズー教徒が多数のインドである。キリスト教が「産めよ、増えよ」と奨励しているから、人口爆発が起きている、という指摘は当たらない。それに環境破壊は、日本のようにほとんどの人が特定の宗教を持たない国でも、いたるところで起きている。「生き物をすべて支配せよ」という言葉が、自然との対立、戦いといったイメージで受け取られ、それが破壊につながっているのだと誤解されたのだろうが、支配というのは「愛が」支配する世界であり、従って、破壊ではなく「愛おしみ、大切に管理する」というのが本当の意味である。ところが、日本のように、温暖で過ごしやすい地域の多い国の人から見れば、気

象条件の厳しい地域が多いヨーロッパの人々の自然に対する態度は、戦いと征服の繰り返しに見えてしまう。気候風土の違いから来る自然への対処の仕方の相違を正しく認識していなかったゆえに、こうした誤解が生じたのである。環境問題に取り組む人が増えたのは、本当に嬉しいことだが、せっかくの志も、誤った認識に立って事に臨んだのでは、問題解決のために重要な協力が困難になるばかりか、対立や抗争が起きてしまう。

そこで私は、日本の総人口の約一パーセントにも満たないキリスト教徒、とりわけヨーロッパに多く、日本人にはおよそ三百人に一人の割合と言われるカトリック信者として、西洋思想と東洋思想、その両方の文化を知る者として、こうした誤解を解き、正しい認識を広めることに力を注いで来た。確かに、日本を含む西側先進諸国の人間活動による環境負荷は多大であるし、また、ヨーロッパの人々の精神的基盤がキリスト教にあるのも確かだが、私はむしろ、科学万能主義の、まさに神をも恐れぬ心が、環境破壊の元凶だと思う。

人間を含む地球のすべては皆、神の手により創られた被造物である。まして、自然を命の糧として与えられている人間は、神を愛し敬う心があれば、大いなる感謝をもって「神様のもの」として、すべてを大切に扱うはずである。現に、ヨーロッパ諸国では、自然の威力を認識しつつ、これを愛し、親しむための環境教育を、家庭や学校で、幼年期から熱心に行っているし、物をもとても大切にしている。

私は、西洋と東洋の板挟みになって苦しむこともあったが、だからこそ、ヨーロッパ主導で作られた国際環境規格ISO14000の世界第一位の認証機関において、合否を決する認証登録判定委員を任せていただけているのだと感謝している。この認証を、日本の市で初めて取得した新潟県上越市の環境副市長として、今年七月から新しい人生をスタートした私の、予想をはるかに上回る苦闘の毎日を支えてくれるのもやはり、聖書の言葉である。

— 為ん方つくれども、希望を失はず (コリント後四・八) —



高畑佳壽子 (たかばたけ かずこ)

新共同訳録音聖書朗読者の一人。フリーアナウンサー、環境ジャーナリスト、国立環境研究所客員研究員として活躍していたが、99年7月から上越市環境副市長に就任。



# 新時代に求められる聖書製作

二十一世紀という新たな時代を迎えるにあたり、日本における聖書製作はどうあるべきか。このようなテーマのもと、特にわたしたち日本聖書協会は具体的に何ができるかを考えるためにプロジェクト2000委員会を組織し、読者の皆様を対象にアンケート調査を行いました。その結果、後援会・維持会員、NHK学園聖書講座受講者、キリスト教主義学校関係者の方々から計三〇三件のご回答をいただきました。今回はアンケートにお書きいただいたご意見・ご質問の内、テーマと関係の深いものを編集部がピックアップし、Q&A方式で内容にお答えいたします。

**Q1** 聖書の活字の大きさについてですが、日本の教会全体が高齢化しつつある現在、将来的には読みやすさを重視した目にやさしい聖書が望まれると考えられますが、どのような対応がとられていますか。

**A** 確かに高齢化は最近の日本の聖書製作にとって見逃せないポイントとなりつつあります。大きな活字で持ち運びやすい聖書はないかなどという質問もしばしばお受けします。聖書協会としては、全ての翻訳において大型聖書を出版しつづけることを考えています。また大きな活字で、携帯性や使いやすさを

考慮した「新共同訳分割聖書」を今年発行したばかりです。さらに目の不自由な方向向けても、点字はもとよりCD・カセット版の聖書を発行しており、ご要望に少しでもお応えしようと考えています。

**Q2** 電子メディアの進歩にはめざましいものがありますが、パソコンで見ることのできる聖書は日本で出版されていますか。

**A** 聖書協会からは出版されていませんが、他社からCD-ROMの形で何種類か優れた製品が出ています。キリスト新聞社の「バイ

ブルメイト」、いのちのことは社の「J・バイブル」などが代表的です。これらは新共同訳と口語訳、英語やギリシア語、ヘブライ語などの聖書の他、コンコルダンス、地図などが見られるようになっていきます。

**Q3** 私は通勤途中に聖書を読むことを習慣にしていますが、聖書は重く、分厚いので少し不便を感じています。軽い聖書、薄型の聖書などはありませんか。

**A** 聖書はご存じのように、紙の中でもタバコの巻紙に次いで薄く高品質のものを使用しています。今後も紙質を考えながら、より薄い聖書の発行を心がけていきます。また携帯性を重視した薄型聖書としては「新共同訳ハンディーバイブル」があります。新刊の「分割聖書」などは読みたい箇所に入った巻を持ち運べるという利点を考えてあります。一冊が軽く、薄いので、病床にある方などにも手軽にお読みいただけます。

**Q4** 聖書には簡単な地図が付いていますが、ときどき聖書の地名の中でないものがあります。もっと詳しい地図は付けられないのですか。

**A** 聖書の地名を網羅するためには各時代に合わせた地図を載せる必要がありますが、聖書は全体を薄くする方向で製作されていますので、ページ数を増やすことには限界があります。地図だけでしたら、他社からも良質の聖書地図が何点か出ております。コンパクトにまとめたものとしては新刊の新共同訳準拠聖書地図「バイブルアトラス」をお勧めいたします。

**Q5** 聖書を読んでいると、聖句や地名がなかなか探せなくて困ってしまうことがしばしばあります。聖書には索引などは付けられないのでしょうか。

**A** 地図と同様ですが、索引を付けるとかなりのページ数になりますので一冊の聖書にまとめるには限界があります。市販のもので、コンコルダンス、語句辞典など良質のものが多数出ています。

**Q6** 新共同訳聖書で本文の詳しい脚注が入ったものを出版する予定はありますか。ドイツ語の聖書で見たことがあります。

**A** 新共同訳の翻訳自体の根拠を表記した注付き、異読・省略などを説明した脚注入り聖書は、特に神学を学ぶ方々からお問い合わせがあり、共同訳聖書委員会で検討中です。

参照つきはすでに発行しています。

**Q7** 在日外国人や海外在住の日本人の増加など、将来日本の国際化はますます進むと考えられます。聖書製作において何か具体的な対応はとられていますか。

**A** まず和英対照の旧約聖書を日本で初めて発行しました。また新約聖書はすでに発行していますが、フライダルなどの贈り物用として和英対照新約聖書の白表紙を出版し、好評の声をいただいています。その他、日西対照新約聖書、韓日対照旧約聖書もあります。さらに外国語聖書を世界各国の聖書協会から輸入し、約一三〇点ほど取り揃えています。書店の大型化が進む中で外国語聖書を全点在庫する書店も出てきています。なおカセット聖書としては英語版などが出ています。

**Q8** 子供たちにわかりやすく聖書を読んでも聴かせたいのですが、適当なものが見当たらないです。どうしたらよいでしょうか。

**A** 聖書協会からは幼児向けとして「新共同訳絵本聖書」が出版されています。また、市販のもので聖書物語など良質のものがたくさん出されています。

**Q9** ちょっとしたプレゼントとしてみ言葉入りの贈り物をしたと思う時があります。

贈り物や用途にあわせた聖書製作はされていますか。

**A** 贈り物としてはばかりでなく、使う方にあわせた簡単な読み物風のものとして、「聖書のある生活シリーズ1〜7」があります。これは結婚、病気、仕事など生活のさまざまな場面にみ言葉に触れていたただけのように、著名人が聖句を選んだ新書版聖書です。三浦綾子さん選の「愛」、日野原重明さん選の「病に生きる」などは好評です。

**Q10** 時代の変化のスピードは極めて速く、今後価値観の多様化がますます進むと考えられます。今後の聖書製作で気をつけているポイントをお聞かせください。

**A** 確かに価値観の多様化は、皆様のニーズにあわせた聖書製作を心がける上で無視できないポイントです。聖書協会としては聖書を発行するという最大の使命に加えて、これからの時代は「二冊目、三冊目の聖書」というコンセプトを重視し、読者の皆様の声を随時製作に反映していくと考えております。今回のアンケートへのご協力を心より感謝いたしますとともに、今後ともご支援の程よろしくお願ひ申し上げます。



## 夏目漱石の聖書

鈴木範久 立教大学教授

## 三四郎

夏目漱石の『三四郎』は、一九〇八（明治四十一年）九月から十二月にかけて『東京朝日新聞』に連載された小説である。最後の方で、三四郎が教会の前で美禰子（ミメコ）を待っていると、やがて礼拝を終えた美禰子が姿を現す。結婚の決まった彼女は三四郎に向かって、聞き取れないような声でつぶやいた。

「われは我が愆を知る。我が罪は常に我が前にあり」

二人は、こうして別れるのであるが、その言葉の前にも、漱石はしきりと「迷羊」（ストレイ シープ）の言葉を用いている。

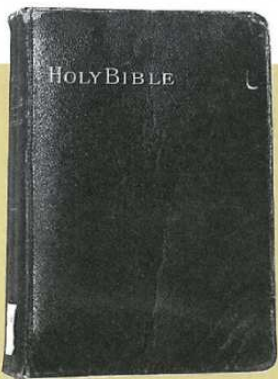
美禰子のつぶやいた言葉も「迷羊」も、ともに聖書の言葉である。

公会成立後、公式に認められた祈祷書は一九九五（明治二十八年）年刊行（翌年公認）の「日本聖公会祈祷書」である。漱石が所蔵していた一九〇六（明治三十九年）版「日本聖公会祈祷書」は、その一九〇六年版の重版とみてもよい。

一九〇六年版なら、一九〇八年連載の『三四郎』と時間的には合うことになる。そうすると『三四郎』に登場する聖句は、直接には聖書からではなく『日本聖公会祈祷書』から漱石は取ったのではなからうか。

## 英文聖書

漱石の用いた聖書で、唯一、所在が判明しているものは、英文聖書である。最近になり、東北大学に赴き、はじめて漱



漱石が使用した英文聖書  
(東北大学図書館)

かなり以前のことになるが、若手の漱石の研究者から、美禰子のもらした言葉のことで、漱石の用いた聖書は何かと問われたことがある。そのときは、同じ表紙が、いわゆる委員会訳の旧約聖書詩篇五一篇三節に出てくるので、たぶん、それであろうと答えておいた。委員会訳の旧約聖書は一八八七（明治二十年）年に完成、翌年には一冊にまとめられている。

ところが、内心気になっていたことがあった。それは、委員会訳では、同じ言葉が、発音は同じだが、表記となると、次のように少し異なっていた点である。

「われはわが愆をしる、わが罪はつねにわが前にあり」

漱石の『三四郎』では、「わが」と「しる」が、いずれも「我が」と「知る」の石の英文聖書を閲覧、調査する機会を与えられた。

その英文聖書は、一八九八年にオックスフォードから出版された改訂訳（RV）で、旧約、新約ともに含まれている。表紙裏には「Natsume San / With Mrs. Nott's most / kind regards / S. S. Preussen / 10th October 1900」の献辞が記入してある。すなわち、漱石が、一九〇〇（明治三十三年）秋、プロイセン号にてイギリス留学に向かう船上で、旧知のミセス・ノットから贈られた聖書である。

聖書を贈ったミセス・ノットは、熊本で伝道していた聖公会（CMS）の宣教師ミス・ノット（Grace Nott）の母親で、たまたま熊本娘のところに滞在中、漱石を知ったものと思われる。ミス・ノットは漱石の勤めていた五高でバイブル・クラスも開いていた。

英文聖書には文字による書き込みが数カ所あるほか、若干の下線および傍線部分がある。紙数に制約があるので、ここでは、一点だけ触れたい。それは、漱石が線を付したところを見ると、男と女、親と子、結婚にかかわる聖句が目立つ点である。

ように漢字が用いられていた。

## 漱石の聖書

その後、漱石の蔵書目録である「漱石山房蔵書目録」（岩波版『漱石全集』収録）により、漱石が「旧新約全書」（明治三十七年、横浜 米国聖書会社）を所蔵していたことを知った。漱石の蔵書の多くは東北大学に収められたのであるが、肝心のこの聖書はない。だが、「明治三十七年」という年は、比較的多数の聖書が刊行され、残されている。それらで調べても、漱石と同じ漢字表記のものは見出されなかった。

しかし、全く同一の文字を使用した書物があったのである。それは、やはり「漱石山房蔵書目録」に記載された「日本聖公会祈祷書」（明治三十九年、神戸 日本聖公会）である。これも所在不明のため、同じ年の刊本によるしかないが、なんとその「早禱」のところに、全く同じ漢字で記された詩篇五一篇三節の文が収められていたのである。

日本の聖公会では、祈祷書は聖書に劣らず重要な位置を占めていた。日本に伝道後まもなく、イギリスの祈祷書の直訳に近いかたちで作成されたが、日本聖



『三四郎』第116回（1908年12月28日）  
『東京朝日新聞』より

漱石の聖書によって見るかぎり、漱石と聖書との関係は、男女、夫婦をめぐる問題、そこに集約される人間の罪の問題であったような気がしてならない。もし、そうだとするならば、一見、キリスト教や聖書よりも、禪にひかれた漱石ではあるが、この視点から、漱石の文学と聖書との関係を、改めて見直す必要があるかもしれない。「三四郎」の美禰子の「我が罪」は意味深長である。

また、今回判明したように、聖書とともに祈祷書との関係からも、漱石の作品を読み直すことが生じてくるであろう。イギリスのキリスト教と熊本の聖公会が、漱石にとり最も近いキリスト教であったからである。



# アレppo写本

930年(ファクシミリ版 1976年)  
縦:32.5cm 横:26.0cm

8世紀から10世紀まで、ベン・アシェル家は6代にわたってティベリアのマソラ研究において指導的役割を果たし、ヘブライ語聖書に母音記号、アクセント記号を付け、マソラ(伝承)を書き入れた写本を作成した。アレppo写本はそれらの1つで、旧約聖書全体を含み、930年に写字生シェロモ・ベン・ブヤアが子音本文を書き、アーロン・ベン・モーシェ・ベン・アシェルが母音、アクセント記号、マソラを付したものである。規範的な写本とみなされ、過越の祭り、七週の祭り、仮庵の祭りにだけ用いられた。この写本はもともとエルサレムにあったが、後にカイロ、そして14世紀末にアレppoに移された。現在はエルサレムで保存されている。写本全体の4分の1は失われている。現在、ヘブライ大学によってこの写本によるヘブライ語聖書の編集が進行中である。



## 読者の声より

### アンケートはがきで寄せられたご質問とご意見

表紙のイラストがとてもやわらかく優しいイメージで気に入っていますが、タイトルやちょっとした説明などもつけてはいかがでしょうか。

のない一般の方も含めて考えています。記事によっては、ご指摘のように少し難しいこともあるかもしれませんが。広く読者の皆さまに受け入れていただけるような誌面づくりを目指して、より一層の努力を払っていきたいと思います。

#### 編集部

この15号を手にした方は既にお気づきでしょうが、表紙イラストが一変してリアルでビビッドなイメージになりました。いかがでしたでしょうか。創刊1号から14号までの7年間、種まぐ人(=SOWER)というテーマのみで一切をイラストレーターの本田年一さんにお任せしてまいりましたが、新しく月本佳代美さんとなってテーマは具体的な「世界の人々の暮らし」となりました。さらにご感想をお寄せください。

海外に贈られた聖書がどのように用いられているのか知らせて欲しいです。

#### 編集部

これまでソアではどちらかというと聖書を取り巻く社会的な側面よりも、聖書の内包する世界に重点を置いてまいりました。例外として海外での聖書普及の状況をお伝えしたのは7号の中国特集ですが、現在は125年記念募金の目的の一つでもある「アフリカ諸国へ聖書を贈る運動」を展開中ですので、これからは海外での聖書普及の状況などをつぶさにお知らせしてまいります。会員誌として皆さまからの会費がどのように用いられているか、そのためには海外取材などを行い、アカウントビリティ(説明責任)を果たしたいとも考えております。今後ソアも脱皮してまいりますのでどうぞご期待ください。

内容が少し難しくして聖職者、神学生、古くからの信徒向けと感じます。

#### 編集部

読者対象につきましては、後援会員、維持会員の皆さまと考えておりますが、内容のレベルは、教職・信徒という聖書に日頃から親しんでいる方々のみでなく、聖書にあまり触れる機会

#### Readers' Voice

◆ 編集後記  
キリスト降誕2000年を目前に、SOWERも表紙装幀をはじめ、紙面をリニューアルいたしました。また、編集委員会も改選されました。二十一世紀に向けて聖書普及事業がこの世界に古くから伝わる光の希望をさかす助けとして発展すること、それが読者の一人ひとりの共通の願いであり、我々のより努力いたします。  
リニューアル第一弾は、リニューアル前の最後の特集「聖書を巡る」の続編として、五年前になりましたが、タイ・アジアとオセアニア全土約三十カ国、さらにアフリカから数人、聖書協会の手導者や四十歳未満のスタッフの代表と集った際に話された。時のUBS総主事の Erickson 氏が、「人々が聖書の言葉に生かされていくか、私たちが聖書の基礎に立脚しているか、私たちの働きはただ生かされているか、聖書に生かされるためには日々聖書に親しむことです。この世の区切りには、心で聖書を通読の計画を立て、書まわらねばならぬことを祈ります。」  
● 〆 第19号 NO.19 Number 1 6966  
発行 財団法人 日本聖書協会  
〒104-0061 東京都中央区銀座4-5-1  
電話 03-5561-1100  
FAX 03-5561-1100  
03-5561-0600  
ホームページ http://www.bible.or.jp  
編集 001600-110410  
表紙イラストレーション 日本特派員  
デザイン 株式会社デザイン・コミュニケーション  
印刷 日本文学印刷株式会社